

## News & Information

---

2026/3/9

[PC-SODの前期第Ⅱ相臨床試験における治験薬投与完了のお知らせ]

パクリタキセルによる CIPN<sup>(※)</sup> (化学療法誘発性末梢神経障害) を対象疾患とした PC-SOD の前期第Ⅱ相臨床試験におきまして、治験薬投与が完了いたしましたのでお知らせいたします。

「PC-SOD (LT-1001)」は、当社独自の DDS 技術を用いたバイオ医薬品であり、様々な疾患の原因となっている活性酸素を消去できる画期的な新薬です。当社は、CIPN 発症に活性酸素が関与することに着目し、動物実験でオキサリプラチンやパクリタキセルによる CIPN を PC-SOD が予防することを見出しました。本結果を受け鋭意開発を進めたところ、オキサリプラチンによる CIPN に関しましては、前期第Ⅱ相臨床試験の一部の評価項目で有効性を確認し、第Ⅲ相臨床試験を昨年 8 月に開始しました。一方、パクリタキセルによる CIPN に関しましては、前期第Ⅱ相臨床試験を 2024 年 9 月に開始しました。

パクリタキセルによる CIPN は、多くのがん患者、特に卵巣がんや乳がんなどの女性患者の生活の質を大きく低下させているにも関わらず、予防薬や治療薬がなく、世界中の患者が新薬の開発を待ち望んでいる領域です。そのためこの臨床試験にご協力頂いている医師等のモチベーションは大変高く、昨年 10 月には予定よりも早く目標登録数に到達いたしました。その後もこの臨床試験は順調に進み、このたび全被験者への治験薬投与が完了しましたのでお知らせいたします。

本臨床試験の進捗につきましては、今後も適時お知らせしてまいります。データ収集等が順調に進みましたら、本年中には結果が判明する予定です。

(※) Chemotherapy-Induced Peripheral Neuropathy ; 抗がん剤治療で引き起こされる副作用の一種。投与後にしびれなどが生じ、重篤な場合には抗がん剤の投与を中断もしくは中止することになり、臨床現場では大きな問題となっています。

以上